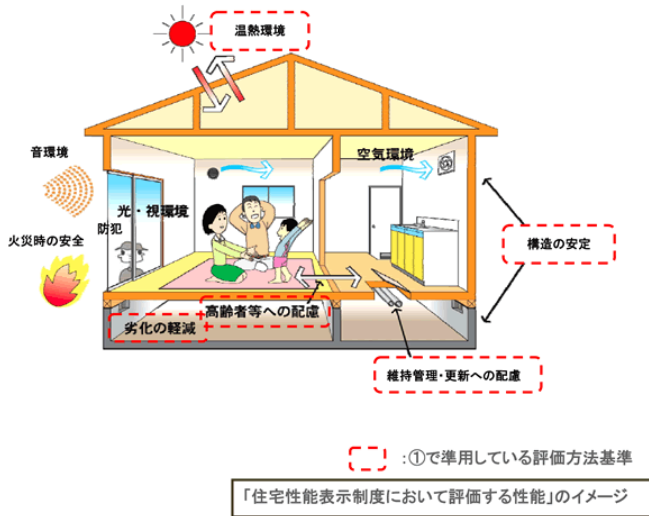


住宅性能表示と長期優良住宅認定の一体化を検討



国土交通省は3月27日、「第5回長期優良住宅制度のあり方に関する検討会」を開催。長期優良住宅のさらなる普及促進に向けて、住宅性能表示制度と長期優良住宅制度を一体的に運用する考えを示した。具体的には、住宅性能表示制度内で長期優良住宅相当と評価できるようにする。

住宅性能表示制度の責任主体である指定評価機関が両制度の審査を行い、長期優良住宅制度で求められる「長期使用構造等とするための措置」を住宅性能表示制度の「住宅性能評価方法基準」のひとつとして位置付ける方針。申請から認定までの期間の短縮や、審査費用の引き下げにより、利用促進を図る。

情報提供: 国交省・新建ハウジング

フローリングの情報サイト「フローリング総合研究所」をオープン

朝日ウッドテックは、フローリングに関連する情報をまとめたウェブサイト「フローリング総合研究所」を3月に公開した。同社が蓄積してきた木と床に関する情報と、住宅・建築のプロフェッショナルの協力のもと新たに作成したコンテンツで構成する「木質フローリング」に特化した情報サイトとなっている。

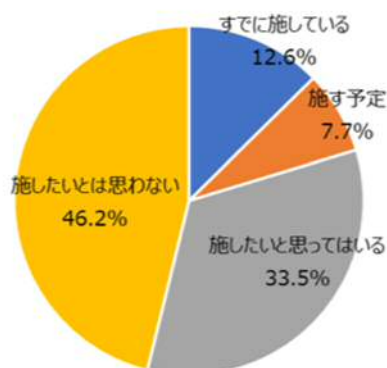
「床は大事研究室」「木のこと研究室」「フローリング研究室」「コーディネート研究室」「メンテナンス研究室」の5つの研究室が、あらゆる角度からフローリングを追求。プロユーザーだけでなく、新築・リフォームを検討中の一般エンドユーザーも、フローリングに対する理解を深めることができる。



情報提供: 朝日ウッドテック・新建ハウジング

家の「断熱改修」、寒さ対策に有効でも「施したいと思わない」が半数

「断熱改修」の実施意向 (n=507)



SUVACO(スバコ)は3月19日、全国の20代以上の既婚者507人に行った「住まいの断熱に関する調査結果を発表した。それによると、家の「断熱改修」が冬の寒さを軽減させることを「知っている」人は6割以上である一方、「施したいとは思わない」人が約半数にのぼることがわかった。

メリットを理解しながらも「断熱改修」を行わない理由として、52.7%が「費用が高そうだから」と回答。改修にかけられる費用について「脱衣場で寒さを感じないくらいの快適さ」の部分改修と、「暖房機器をほとんど使わなくても済むくらいの快適さ」の全面改修にわけて聞いたところ、いずれの場合も

「10万円未満」を選んだ人が最も多いという結果になった。同社では、断熱改修の効果と適正な価格の情報が、一般の人に伝え切れていないためとしている。

情報提供: 新建ハウジング